

自律性向上に関する計画

団体名: 公益財団法人 高知県文化財団
 管理施設: 美術館
 (現行指定管理期間: 令和10年度まで)

※ 本資料の内容については、現時点での方向性を記載したものであり、今後、変更の可能性があります。

1 計画の趣旨・目的等

(1) 趣旨・目的
・多くの人に美術館に来ていただき、芸術・文化に触れる機会を増やす ・より質の高い展示・サービスを提供する ・施設を支える人材・財務上の基盤を整える
(2) 手段
・質の高い魅力的な企画展等を開催することで利用料金収入を増やす。 ・年齢や障害の有無に関わらず、誰もが芸術に親しむことができる環境を整備する。

2 計画の概要

(1) 令和8年度において具体的事業実施を予定するものを記載してください。

施設・エリア名	実施時期・期間	事業の概要	増収分の活用方針(予定)
美術館	令和8年 7月～9月	マスコミとの実行委員会形式での企画展としてジミー大西「ホームタウン」展を開催し、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に芸術に親しんでもらう。	次年度以降の企画展や展示環境と施設の魅力化の向上などの拡大再生産に要する経費としての活用や職員の処遇改善の検討
	令和8年7月～ 令和9年3月	多言語パンフレットの作成やARを活用した館内めぐりなどで外国人観光客やリピーターを取り込む。	
	令和8年10月～ 令和9年1月	今年度後半に開催する「絵金展」について、美術系Vtuberとのコラボや関連グッズの制作・販売を行い、新たな顧客層を獲得する。	上記事業の増収分を活用し、来館者のサービス向上に資する取組に活用
	令和8年 6～11月	ポータブル型の難聴者用補聴器補助装置(ヒアリンググループ)を整備し、聴覚障害の方や高齢者のホール事業等の鑑賞機会の向上を図る。	

(2) 令和9年度以降実施予定の事業(令和8年度までの到達目標を含む)を記載してください。

No	事業概要
1	企画展について、実行委員会形式や貸館などにより指定管理料を財源としない形での開催を検討する (R8: 展示内容、実施方法、共同開催相手等の検討)
2	施設の魅力の向上 (R8: 常設展示を含む作品音声ガイドの更新)

3 県の支援措置の活用方針等

(1) 県の支援計画のうち活用を予定しているものを記載してください。

- ・入館者の増加に向けた総合的なサービスの強化(所得向上推進企業総合支援事業費補助金)
- ・キッズスペースの整備や所蔵作品を活用した塗り絵の作成など、子どもが展示作品に興味を持つ仕掛けづくりや授乳室の増設を行う
(こども・子育て応援環境整備事業費補助金)
- ・収蔵品の修復(ふるさと納税活用クラウドファンディング)

(2) 規制緩和など県に要望したい事項があれば記載してください。

- ・施設・設備の修繕・更新
- ・自主事業の企画展示における高齢者等からの料金徴収

4 財団内の推進体制

計画の責任者、実務者、会議体など長期の事業を実施・推進するための体制を記載してください。

- 1 文化財団自律性向上推進部会(必要に応じ開催)
 - 責任者: 理事長
 - 構成員: 美術館長、副館長、坂本龍馬記念館長、副館長 事務局: 総務部長、総務企画課長
 - 県担当課: 文化振興課、歴史文化財課
- 2 各館の推進体制
 - 館における既存の各種会議等で事業の進捗状況を管理する

自律性向上に関する計画

団体名：公益財団法人 高知県文化財団
管理施設：高知県立坂本龍馬記念館
(現行指定管理期間：令和10年度まで)

※ 本資料の内容については、現時点での方向性を記載したものであり、今後、変更の可能性があります。

1 計画の趣旨・目的等

今回の計画を通じて「活性化」によって実現したいこと(目的)、実現するための手段を記載してください。

(1) 趣旨・目的

- 1 指定管理期間(～令和10年度)を通じて、龍馬館ならではの特別企画展の開催と、付加価値の高いおもてなしサービスの提供に取り組むとともに、施設を支える財務上の基盤を整え、人材の確保や所得向上を図るなどの処遇改善につなげる。
特に令和8年度は、特別企画展を10～12月に開催するなど、「よさこい高知文化祭2026」の時流を生かした取り組みを実施する。
- 2 一連の取り組みにあたっては、「どっぷり高知旅キャンペーン」の勢いも生かして、次の目的達成につなげる。
 - ①入館者数と入館料収入の目標数値のクリア
 - ②切れ目のない特別企画展の開催などを通じた龍馬顕彰施設としてのステージアップ
 - ③展示ケースや収蔵資料群の拡充による展示環境の充実

(2) 手段

- 1 明治9年の廃刀令から150周年の企画として特別企画展「土佐ゆかりの刀剣」展を開催し、龍馬や土佐の刀工ゆかりの日本刀をはじめ、県外博物館所蔵の著名な洋刀を展示して、これら刀剣群の意義と、廃刀令後の政局の大きな変遷を紹介する。
- 2 併せて、おもてなしサービスとして、
 - ①俳優による土佐弁を交えた特別音声ガイド
 - ②インバウンド専用のネイティブスピーカーによる音声ガイド
 - ③限定グッズの開発
 - ④旅行ツアーの企画とセールスの取り組みを組み合わせることで集客を図り、知名度及び信頼度のアップにもつなげる。

2 計画の概要

(1) 令和8年度において具体的事業実施を予定するものを記載してください。

施設・エリア名	実施時期・期間	事業の概要	増収分の活用方針(予定)
高知県立 坂本龍馬記念館	令和8年10月 ～12月	(1) 令和8年は、武士の象徴である刀の時代が終わって150年という節目の年。 ・龍馬は無類の刀好きで、土佐藩の刀工だった左行秀や吉行をはじめ、多くの刀を手にしていた。 ・手紙の中にも刀の話は何度も登場し、龍馬の刀剣への熱量が窺える。 ・本展では、龍馬や幕末の土佐藩士らが持っていた土佐ゆかりの刀をはじめ、後藤象二郎らが英国女王より拝領したサーベルなどの特別展示を通じて、武士にとっての刀の意義と、廃刀令後の政局の大きな変遷を紹介する。 (2) 「よさこい高知文化祭2026」及び「どっぶり高知旅キャンペーン」とも連携し、(1)の取り組みにもシンクロしながらおもてなしサービスの高付加価値化を行う。 <主な展示資料(案・調整中)> ・後藤象二郎拝領のサーベル (静嘉堂文庫美術館所蔵) ・中井弘(薩摩藩士)拝領のサーベル (京都国立博物館所蔵) ・土佐の刀工である陸奥守吉行や左行秀 (個人蔵) ・野根山二十三士を支援した中島氏詮(うじのり) (個人蔵) など <サービスの高付加価値化(予定)> ・土佐弁を交えた音声ガイド(2種類) ・ネイティブスピーカーによる音声ガイド (英語) ・限定グッズ付きチケットの販売 (一般向け) ・旅行会社への旅行ツアー商品の提案	・次年度以降の自主企画展や展示環境と、おもてなしサービスの磨き上げなどの拡大再生産や、職員の処遇改善等に活用

(2) 令和9年度以降実施予定の事業(令和8年度までの到達目標を含む)を記載してください。

No	事業概要
1	<特別企画展 ※R8～10年度の特別企画展は、時流を生かした周年展の連年企画とする。> ・R9年度 特別展の企画実施: 龍馬・慎太郎没後160年周年の記念事業の主催 ・R10年度 特別展の企画実施: 龍馬の甥・坂本直寛が創った「北光社」による北海道開拓から130周年の記念事業の主催
2	<おもてなしサービスの高付加価値化> ・R9年度以降: おもてなしサービスの磨き上げに取り組み、「どっぷり高知旅キャンペーン」等との連携による誘客促進を図る。 ※R8 日本語音声ガイド: 2種類の提供 外国語音声ガイド: 1種類の提供 限定グッズ: 限定デザインのチケットとコースターの提供

3 県の支援措置の活用方針等

(1) 県の支援計画のうち活用を予定しているものを記載してください。

・所得向上推進企業等総合支援事業費補助金《産業政策課》 ⇒ 特別企画展の開催及びおもてなしサービスの強化
 ・子育て応援環境整備事業費補助金《子育て支援課》 ⇒ 子供向け遊び場の新設

(2) 規制緩和など県に要望したい事項があれば記載してください。

・年間パスポート券販売の条件整備の検討(令和9年度から施行希望)

4 財団内の推進体制

計画の責任者、実務者、会議体など長期の事業を実施・推進するための体制を記載してください。

1 文化財団自律性向上推進部会(必要に応じ開催)
 ○責任者: 理事長
 ○構成員: 美術館長、副館長、坂本龍馬記念館長、副館長 事務局: 総務部長、総務企画課長
 ○県担当課: 文化振興課、歴史文化財課
 2 各館の推進体制
 館における既存の各種会議等で事業の進捗状況を管理する

自律性向上に関する計画

団体名:公益財団法人 土佐山内記念財団
管理施設:高知城歴史博物館
(現行指定管理期間:令和7年度まで)
(次期指定管理期間:令和12年度まで)

※ 本資料の内容については、現時点での方向性を記載したものであり、今後、変更の可能性があります。

1 計画の趣旨・目的等

今回の計画を通じて「活性化」によって実現したいこと(目的)、実現するための手段を記載してください。

(1)趣旨・目的
事業を通し、高知への興味・関心を高めると共に入館者の増につなげる。 施設の魅力向上につながる環境整備。
(2)手段
高知城歴史博物館館内のミュージアムショップを活用した商品販売の充実 地場産業と連携した、あるいは博物館のオリジナルの商品を開発する等、特色ある商品を取り扱う。

2 計画の概要

施設・エリア名	実施時期・期間	事業の概要	増収分の活用方針(予定)
高知城歴史博物館 ミュージアムショッ プ	令和8年4月	観光客をターゲットとした新規グッズ(キーホルダー、文房具、地場産品等)の開拓・販売	備品購入や広報、新たな商品開発等に活用

(2) 令和9年度以降実施予定の事業(令和8年度までの到達目標を含む)を記載してください。

No	事業概要		
	物販事業の拡大	取扱商品	販売販路
1	R9: 土佐の幸「山シリーズ」第一弾(丸太椅子、Tシャツ、鹿角キーホルダー)販売開始	食品販売の検討(家紋干菓子等)	アンテナショップでの販売開始
	(R8: 新商品開発の検討、制作企業の選定(候補企業探し)、販路拡大の検討)		
	R10: 土佐の幸「海シリーズ」第二弾販売開始	オリジナルグッズ新商品の開発、食品販売の開始	物産展への出展検討
	R11: 土佐の幸「里シリーズ」第三弾販売開始	オリジナルグッズ新商品販売開始、食品取扱数拡大	物産展への出展

3 県の支援措置の活用方針等

(1) 県の支援計画のうち活用を予定しているものを記載してください。

・子育て応援環境整備事業費補助金の活用を検討(子ども向け体験グッズの購入等)
--

(2) 規制緩和など県に要望したい事項があれば記載してください。

特になし

4 財団内の推進体制

計画の責任者、実務者、会議体など長期の事業を実施・推進するための体制を記載してください。

財団内でプロジェクトチームを設置し、自主事業を検討・推進。月1回の定例会を開催する。 責任者: 1名 担当者: 地場産品選定、オリジナルグッズ開発に各2~3名程度を配置
--

自律性向上に関する計画

団体名：公益財団法人 高知県スポーツ振興財団
管理施設：春野総合運動公園、県民体育館、武道館
(現行指定管理期間：令和11年度まで(春野総合運動公園は令和10年度まで))

※ 本資料の内容については、現時点での方向性を記載したものであり、今後、変更の可能性があります。

1 計画の趣旨・目的等

今回の計画を通じて「活性化」によって実現したいこと(目的)、実現するための手段を記載してください。

(1)趣旨・目的
・人口減少や少子化の時代にあっても、県立スポーツ施設の利用者の減少を最小限にとどめ、スポーツの振興や県民の皆さんの健康増進の場としての役割を果たす。 ・高知県スポーツ推進計画に掲げるスポーツ参加の拡大、競技力の向上、スポーツを通じた活力ある県づくりに貢献する。 ・施設を支える人材・財務上の基盤を整え、より質の高いサービスを提供する。
(2)手段
・企業や大学の合宿誘致に努めるとともに、幼稚園・保育園・学校の運動会やレクリエーションの場としての活用を促進する。 ・イベント・見本市・各種会合などスポーツ以外の利用について、営業活動や広報事業によって拡充を図る。 ・スポーツ振興財団の職員提案事業として実施しているスポーツ教室や春野総合運動公園での昼食提供事業をさらに充実させる。 ・これらの営業活動や広報活動については、民間企業の参画を得て、営業先や媒体を吟味することで充実させ、成果(売上)につなげる。 ・経常費用の著しい増加に対応するため、今期の指定管理申請の事業計画書で予定している県民体育館、武道館、(弓道場)の利用料金の値上げを実施する。値上げによって得られた収益の一部は利用者から要望のあるスポーツ器具の更新や施設・設備の修繕費用に充て、利用者のサービス向上に努める。

2 計画の概要

(1) 令和8年度において具体的事業実施を予定するものを記載してください。

施設・エリア名	実施時期・期間	事業の概要	増収分の活用方針(予定)
春野総合運動公園	令和8年度	スポーツ教室の充実(教室数の増、参加率の向上)	財団の正味財産に充当
春野総合運動公園	令和8年度	土日祝日を中心に体育館や陸上競技場前で実施している利用者への昼食提供事業について、出店者の増や実施日数の増によって充実させる。	財団の正味財産に充当

春野総合運動公園	令和8年度	企画会社等への営業により、体育館へのスポーツ以外のイベントや催事の誘致を行い、施設の有効活用と利用料金収入の増に努める。(12/24の第1回懇談会にて若月館長からご意見あり。)	財団の正味財産に充当
県民体育館	令和8年度	スポーツ教室の充実(種目の魅力化、参加率の向上)	財団の正味財産に充当
県民体育館	令和8年度	企画会社等への営業により、体育館へのスポーツ以外のイベントや催事の誘致を行い、施設の有効活用と利用料金収入の増に努める。(12/24の第1回懇談会にて若月館長からご意見あり。)	財団の正味財産に充当
県民体育館	令和8年10月1日～	物価高騰や人件費増の影響で経常費用の増加が著しいことから、指定管理申請の事業計画書で予定していた利用料金の値上げを行う。なお、令和7年4月に値上げを見送った項目を対象とする。 (12/24の第1回懇談会にて古谷委員からご意見あり。)	備品購入、修繕費に活用(50%) 財団の正味財産に充当(50%)
武道館	令和8年度	スポーツ教室の充実(種目の魅力化、参加率の向上) ※参加者数を伸ばすためには、駐車場の確保、スペースの確保、インストラクターとの調整という課題あり。(現在、武道館内で協議中)	財団の正味財産に充当
武道館	令和8年10月1日～	物価高騰や人件費増の影響で経常費用の増加が著しいことから、指定管理申請の事業計画書で予定していた利用料金の値上げを行う。なお、令和7年4月に値上げを見送った項目を対象とする。 (12/24の第1回懇談会にて古谷委員からご意見あり。)	備品購入、修繕費に活用(50%) 財団の正味財産に充当(50%)
春野総合運動公園 県民体育館 武道館	令和8年度	○アドバイザーや経営コンサルタントなどの参画を得て、県、財団職員をメンバーとした企画会議を設置、下記のテーマについて、アイデア出し、需要、コスト、採算性などを協議、とりまとめを行う。また、令和8年度に実施する収益向上策について、民間事業者の力を借りて、営業活動や広報事業を充実させる。 (協議のテーマ) ・新たな収益向上策や利用者へのサービス向上策の創出 ・業務のデジタル化(浮いた人役を営業活動へ) ・県民体育館休館中の職員配置と業務の進め方 ・財団の経営状況を踏まえた新たな出資者(スポンサー)のリサーチ	財団の正味財産に充当

(2) 令和9年度以降実施予定の事業(令和8年度までの到達目標を含む)を記載してください。

No	事業概要
1	スポーツ教室の充実(継続)＝毎年度5～10%の増収を目指す。
2	春野総合運動公園での昼食提供事業(継続)＝毎年度10%の増収を目指す。
3	スポーツ以外での体育館の利用促進(春野総合運動公園、県民体育館／継続)＝毎年度10%の増収を目指す。
4	令和8年度に企画会議で協議を行った新たな収益向上策、利用者へのサービス向上策、デジタル化、新たな出資者へのアクセスなどの実践

3 県の支援措置の活用方針等

(1) 県の支援計画のうち活用を予定しているものを記載してください。

・管理代行料(活性化プロジェクト)
・クラウドファンディング活用の検討

(2) 規制緩和など県に要望したい事項があれば記載してください。

・指定管理者制度の運用の改善(指定管理事業に要する費用の評価)
・高齢者に係る利用料金の減免ルールの緩和(65歳以上を70歳以上または75歳以上に)

4 財団内の推進体制

計画の責任者、実務者、会議体など長期の事業を実施・推進するための体制を記載してください。

(1) 継続事業の推進体制
スポーツ教室の充実、昼食提供事業、スポーツ以外での体育館の利用促進に係る営業活動や広報事業の推進については、民間事業者の参画を得て、企画総務課スポーツ戦略、各施設のスポーツ教室担当、体育館管理担当が中心になって充実を図る。

(2) 企画会議の設置

(メンバー)

責任者: 財団理事長

県: スポーツ課、公園上下水道課の担当チーフ

財団: 企画総務課長、館長、スポーツ戦略班長、施設担当の班長

経営コンサルタント: 情報収集、収支予想、会議の運営・とりまとめ

アドバイザー: 経営コンサルタントとの協議で適任者を選定

(協議の手法)

グループワークを想定、頻度は経営コンサルタントと協議して決定

自律性向上に関する計画

団体名:公益財団法人 高知県牧野記念財団
管理施設:高知県立牧野植物園
(現行指定管理期間:令和8年度末まで)

※ 本資料の内容については、現時点での方向性を記載したものであり、今後、変更の可能性があります。

1 計画の趣旨・目的等

今回の計画を通じて「活性化」によって実現したいこと(目的)、実現するための手段

(1)趣旨・目的

【基本的な考え方】

財団にとって最も大切かつ必要な財産は、人材であり、「人材の確保、育成、定着」と「財団で働く職員の幸せ」を目指すことが、財団としての基本的なスタンス。そして、これらを実現することが、「財団の発展」、「植物園の管理運営のさらなる充実」、ひいては、「植物園を利用してくださるお客様の満足」につながっていくものと認識。そのために、職員の「働きやすさ」や「働きがい」の向上に向け、「処遇の改善」や「働きやすい職場環境づくり」などに取り組んでいるところ。引き続き、こうした考え方に沿って、高知県立牧野植物園(牧野富太郎博士を顕彰する施設であり、植物の収集・保存・展示、研究、教育普及、憩いの場の提供といった機能を備えた総合植物園)の指定管理者として、多岐にわたる管理運営業務を着実に実施するとともに、効果的な広報を展開することなどを通じて、より多くのお客様にご来園いただくことにより、利用料金収入の安定的な確保を図り、あわせて、有料ガイド事業を実施するなど、収入の維持・拡大に努める。

(2)手段

牧野博士の業績の顕彰、植物の収集・保存・展示、研究、教育普及、憩いの場の提供といった多様な機能を備えた総合植物園の指定管理者として、利用者の方々に対する良質で満足度の高いサービスの提供に努めるとともに、効果的な広報を展開することなどを通じ、より多くの来園者の確保を目指す。これにより、利用料金収入の安定的な確保を図るとともに、有料ガイド事業を実施するなど、収入の維持・拡大に努める。あわせて、新たな財源の確保についても、園の目的、財団の目的との整合性や指定管理事業との両立といった観点に加え、
①これまでの取組との親和性
②職員の知識・技術などの活用可能性
③低コストでの実施が見込まれること
などを踏まえ、現行の事務局体制の下で持続可能な取組について、全体最適の観点から自律的に検討し、実施につなげる。
検討にあたっては、引き続き、財団の事務局内での協議や、理事、評議員との協議などを行っていく。

2 計画の概要

(1) 令和8年度において実施を予定する具体的事業

施設・エリア名	実施時期・期間	事業の概要	増収分の活用方針(予定)
園内	令和8年度	有料の園内ガイド	「人材の確保・育成・定着」に資する取組の財源として活用
園内	令和8年度	お客様に特別な価値を感じていただけるツアーの受入れに向けた取組	「人材の確保・育成・定着」に資する取組の財源として活用
園内	令和8年度	植物研究活動に係る外部資金の獲得に向けた取組	「人材の確保・育成・定着」に資する取組の財源として活用

(2) 令和9年度以降実施予定の事業

No	事業概要
1	現行指定管理期間が令和8年度末までであるため未記載
2	
3	

3 県の支援措置の活用方針等

(1) 県の支援計画のうち活用を予定しているもの

広報体制確立 500万円(管理代行料の増額。R8年度限り)

(2) 規制緩和など県に要望したい事項

財団の業務や体制などの現状と課題及びそれらを踏まえて財団が自律的かつ自主的に取り組んでいることへのご理解とご支援をお願いします。
--

4 財団内の推進体制

計画の責任者、実務者、会議体など長期の事業を実施・推進するための体制

理事長、園長、副園長及び課長級以上の職員により構成する「企画会議」(週1回開催)
--

自律性向上に関する計画

団体名:公益財団法人 高知県のいち動物公園協会
管理施設:県立のいち動物公園
(現行指定管理期間:令和10年度まで)

※ 本資料の内容については、現時点での方向性を記載したものであり、今後、変更の可能性があります。

1 計画の趣旨・目的等

今回の計画を通じて「活性化」によって実現したいこと(目的)、実現するための手段を記載してください。

(1)趣旨・目的
のいち動物公園の基本理念「人も動物もいきいきと」に基づき、生物多様性の保全に係る課題解決に向けた野生動物種の調査研究や知識の普及などの公益事業により当協会の財務基盤の強化を図るため、これまでの取り組みの拡充や新たな企画を展開し入園者数の増加と収益増の好循環を目指す。
(2)手段
のいち動物公園オリジナルグッズの拡充やデジタルコンテンツ、県内外の民間企業とのコラボグッズの制作、販売などで得た収益を事業の維持、拡大に充当する。

2 計画の概要

(1)令和8年度において具体的事業実施を予定するものを記載してください。

施設・エリア名	実施時期・期間	事業の概要	増収分の活用方針(予定)
売店	令和8年4月～	のいち動物公園オリジナルグッズの拡充(既存商品の見直し)	・50%は新たなグッズ製作経費に充当 ・50%は正味財産に充当
売店	令和8年4月～	のいち動物公園のポスターの製作、販売	・50%は新たなポスター製作経費に充当 ・50%は正味財産に充当
園内全体	令和8年9月～	入口ゲート前広場やレストラン、科学館等を活用したイベントの誘致	・100%を野生動物の知識普及等の広報啓発費用に充当

(2) 令和9年度以降実施予定の事業(令和8年度までの到達目標を含む)を記載してください。

No	事業概要
1	台北市立動物園とのコラボグッズの製作、販売(R8:台北市立動物園とグッズの詳細について協議)
2	(株)海洋堂との動物フィギアなどのコラボグッズの製作、販売(R8:(株)海洋堂とグッズの詳細について協議)
3	通常公開していないバックヤード等での動物福祉に係る取り組みをライブ配信などのデジタルコンテンツの制作、販売(R8:企画の詳細検討、動画配信機材の整備)
4	園内掲示板への広告の掲載(R8:掲載方法、場所の検討、企業訪問)
5	制服への広告提示(R8:掲載方法の検討、企業訪問)
6	特定日時に企業名を冠して入園料を無料とするスポンサーデーの実施(R8:企画の詳細検討、企業訪問)
7	駐車場利用料金の徴収(R8:施設整備、料金等の運用方法検討)

3 県の支援措置の活用方針等

(1) 県の支援計画のうち活用を予定しているものを記載してください。

- ・キッズスペースの拡充、トイレへのベビーベッドの設置(こども・子育て応援環境整備事業費補助金)
- ・来園者が野生動物の理解をより深めることができ、動物の飼育環境の向上にも資する施設整備(クラウドファンディング)
- ・駐車場利用料金の徴収を行うための施設整備に必要な予算措置(R8年度県当初予算として計上済み)

(2) 規制緩和など県に要望したい事項があれば記載してください。

- ・売店スペースの拡大

4 財団内の推進体制

計画の責任者、実務者、会議体など長期の事業を実施・推進するための体制を記載してください。

- 計画総括責任者:園長
- オリジナルグッズ開発
 - ・台北市立動物園コラボグッズ:飼育課長(台北市立動物園との調整担当責任者)、企画チーフ(商品開発担当責任者)
 - ・これ以外のグッズ:担当職員で構成する売店オリジナルグッズ開発チーム(責任者:企画担当職員1名、チーム員:関係職員6名)
- 広告
 - ・担当チーム(総務企画課長(責任者)、企画担当職員1名)
- デジタルコンテンツ、スポンサーデー、キッズスペース
 - ・担当チーム(企画担当職員1名(責任者)、企画担当職員1名)
- 駐車場利用料
 - ・担当チーム(総務企画課長(責任者)、総務担当職員2名)